

万亭應賀作

上

~ 13
3387
1



13
3387
1

迦八相

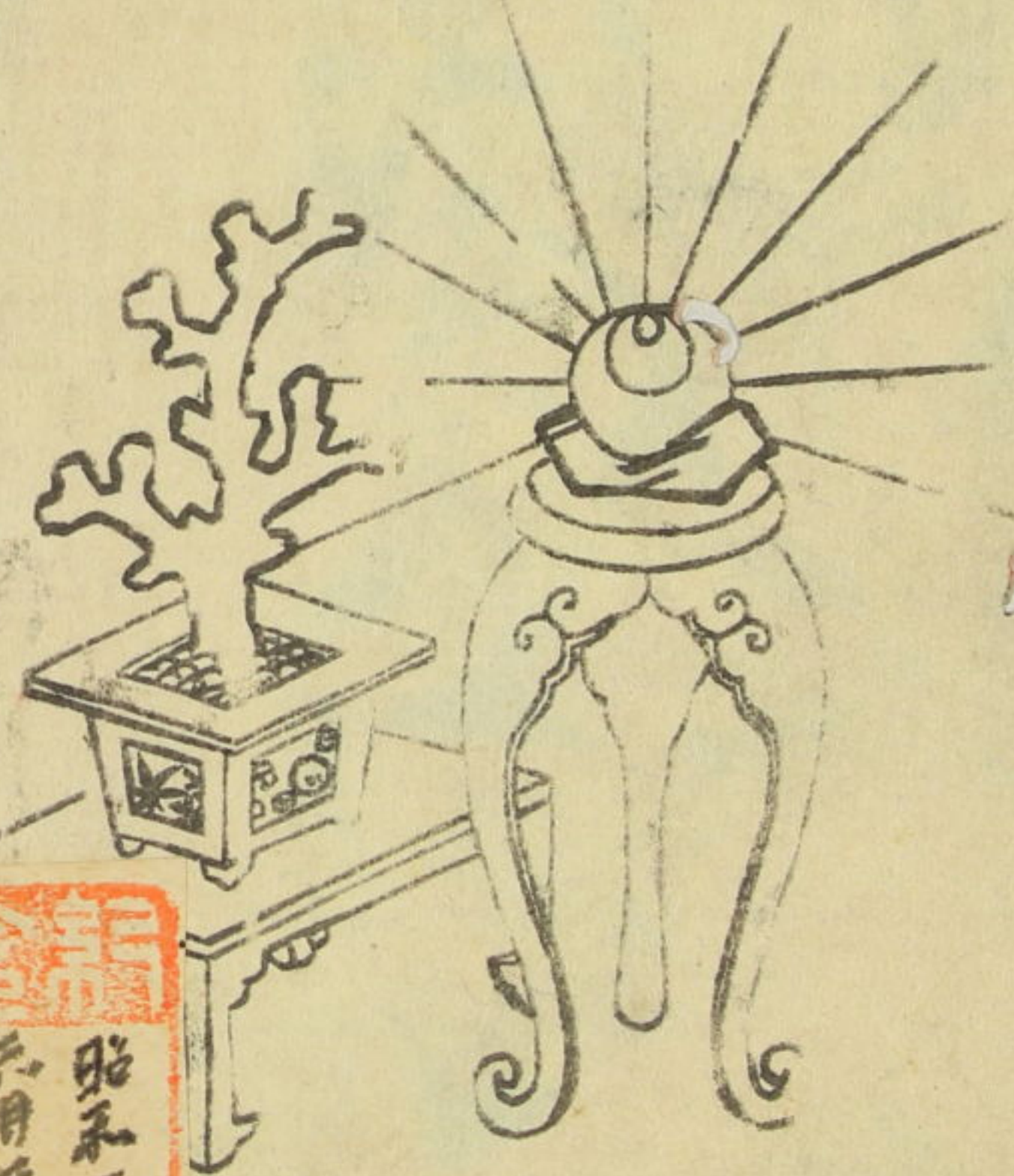
倭文庫

初編上之卷

万亭應賀著

一陽齋書畫

錦重堂梓



昭和三十二年
六月廿日
小田新三氏
長田力左氏
大書贈

壹

叙

書畫齋

大集經末未記白如く自法隱没と説き

不違今この時ふ合せ見らふ不思強るる其意

二市今この時ふ合せ見らふ不思強るる其意

我作今この時ふ合せ見らふ不思強るる其意

四十今この時ふ合せ見らふ不思強るる其意

天保十六年
乙巳の夏陽
二十五歳の著作
万亭應賀述



善覚大臣の姉娘
橋曇弥



中天竺迦毘羅城

三十七代
浄飯大王

善覚大臣の姉娘
摩耶夫人



下...
 九天...
 加...
 都...
 城...
 解...
 大賢...
 手...
 三...
 益...
 の帝...
 王...
 人...
 淨...

王子頼子



迦毘羅城

夕陽山

迦毘羅城



新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王



新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王

新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王



新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王
新羅の王



このひたひたの
まなこに
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの

おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ

おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ



おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ

おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ
おのの
あはれ

ついでにありてはなして
人へてはなしてのちも
おのゝ

あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と

あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と



あつた作のまが
大綱 二六八六冊
流 七本
石山 四冊
呉 四冊
右 外
初 巻
大 国
荷 二冊

あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と

あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と

あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と
あんの日と



うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま
うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま
うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま



あつてくちまきうた
うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま
うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま

うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま
うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま



あつてくちまきうた
うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま
うさつりやんぎのそめどもせんごく
ふつりのけんあつてくちまきうた
すちあまの家のゆきま



この内のか

あつとまふとこれ
のふあそとまふと
さんごののよういそ
りそせたる
さるやま
まふと
ひごらの
ねがひを
さすや
あつとま
ふとま
りそと
れが
うま



つぎとまふと
なら大長うちうま
こちうまやうま
かちうまやうま
あてのえん
さるやま
さんごの
りそと
れが
うま

あつとまふと
のふあそとまふと
さんごののよういそ
りそせたる
さるやま
まふと
ひごらの
ねがひを
さすや
あつとま
ふとま
りそと
れが
うま

此の世のついでに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに

改貞国
豊国画
 應賀作



此の世のついでに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに
 けしきもいふに

倭文庫出世双六

豊国画 春の将基双六 同作
 負房画

男女合 役替日双六

同作 同画
 武家奉公出世双六 同作
 豊国画

奥奉公出世双六

同作 同画
 子宝延命代衣 同作
 同画

重榮御江戸繪圖

奉書四枚半つた
大寶御江戸繪圖

接上摺奉書六枚半續

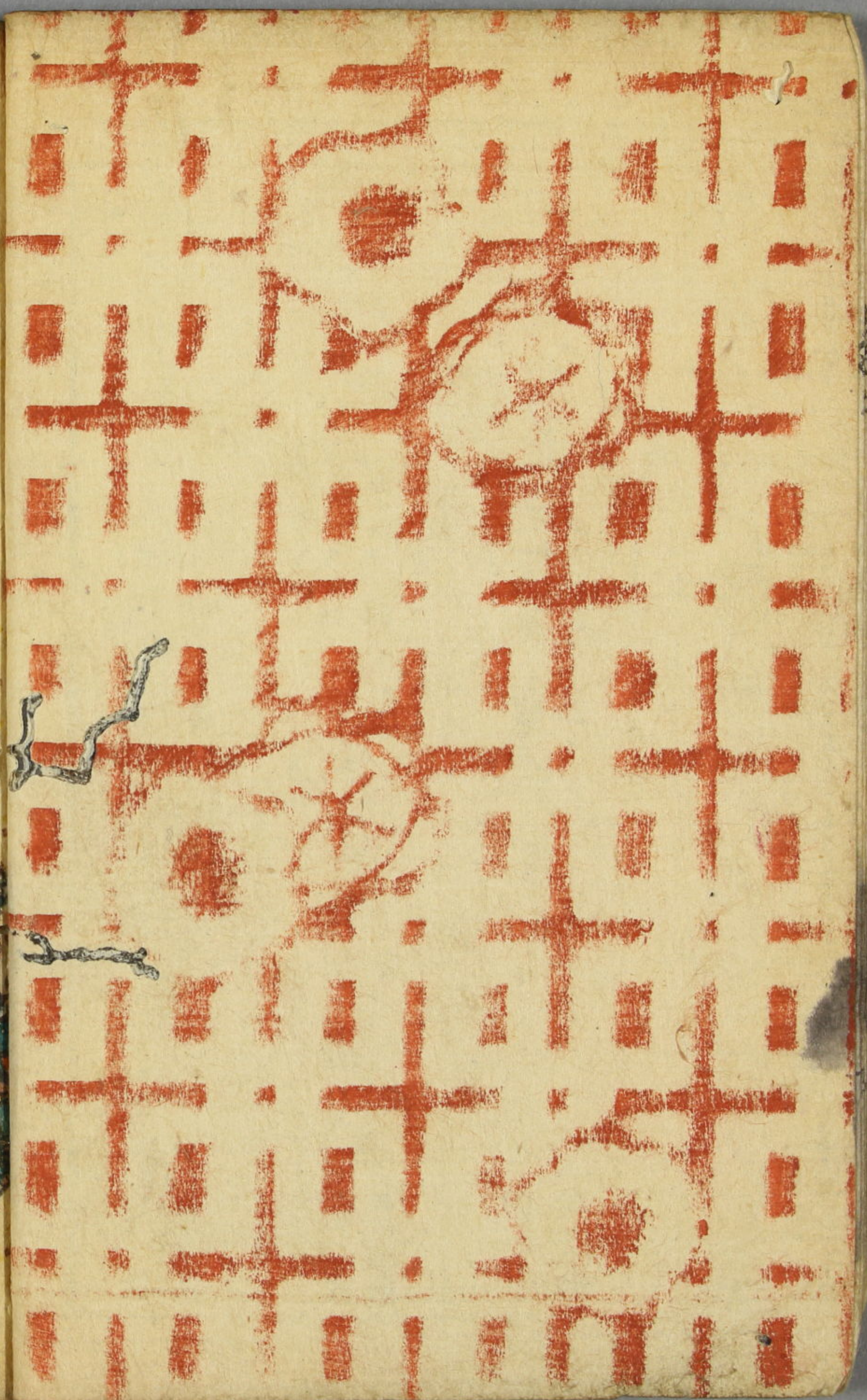
陽齋豊国画



倭女文庫初編

錦重堂版

下

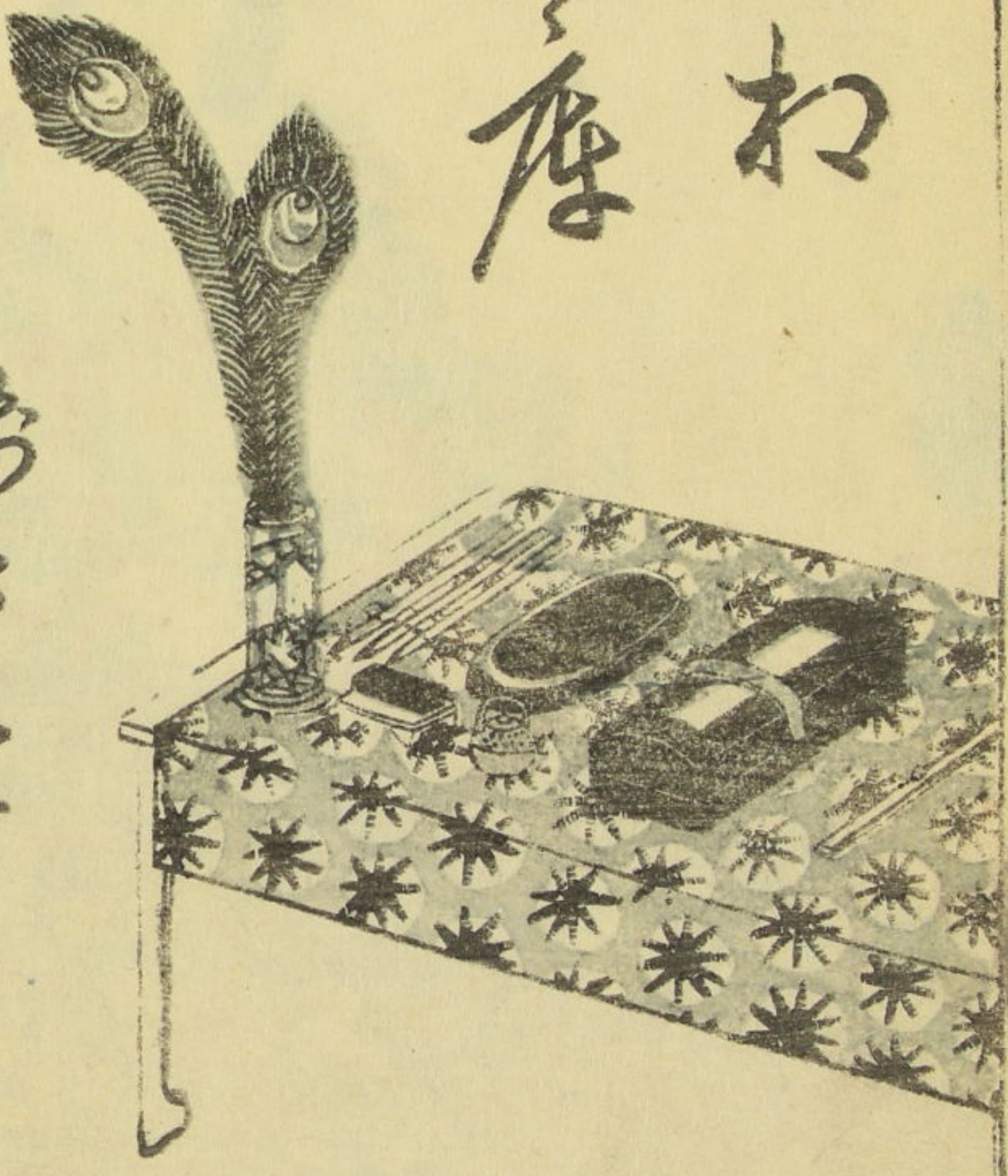




小玉の王女
 善覚王 春内
 月夜のこと
 ありとみあはれ
 月夜のこと

月夜のこと
 ありとみあはれ
 月夜のこと

輝廻ハね
 倚の座
 物の海
 下の色



海を
 来の橋
 金次郎

つまじき世ふかそらぶた
 りのゆをありけり
 されば御殿大玉の
 かの殿人の女とぞなり
 さまさかゆいそまふこれ
 とよまけてのりとの
 花のうきまやふらんみそ
 けりうらまひなまや
 けり六のちちうたか
 けりよとあひるる月のさ
 けりよとあひるる月のさ
 ねやさびしきまね
 ねのりちちかきり
 うらやひとりのまき
 あひいりてまきまき
 とらたりすまき
 るるよそりやとめ
 かね色あまのり
 ひくこととあり
 あんてあまのり
 たひてまき
 りてまき
 とらまき



つまじき世ふかそらぶた
 りのゆをありけり
 されば御殿大玉の
 かの殿人の女とぞなり
 さまさかゆいそまふこれ
 とよまけてのりとの
 花のうきまやふらんみそ
 けりうらまひなまや
 けり六のちちうたか
 けりよとあひるる月のさ
 けりよとあひるる月のさ
 ねやさびしきまね
 ねのりちちかきり
 うらやひとりのまき
 あひいりてまきまき
 とらたりすまき
 るるよそりやとめ
 かね色あまのり
 ひくこととあり
 あんてあまのり
 たひてまき
 りてまき
 とらまき

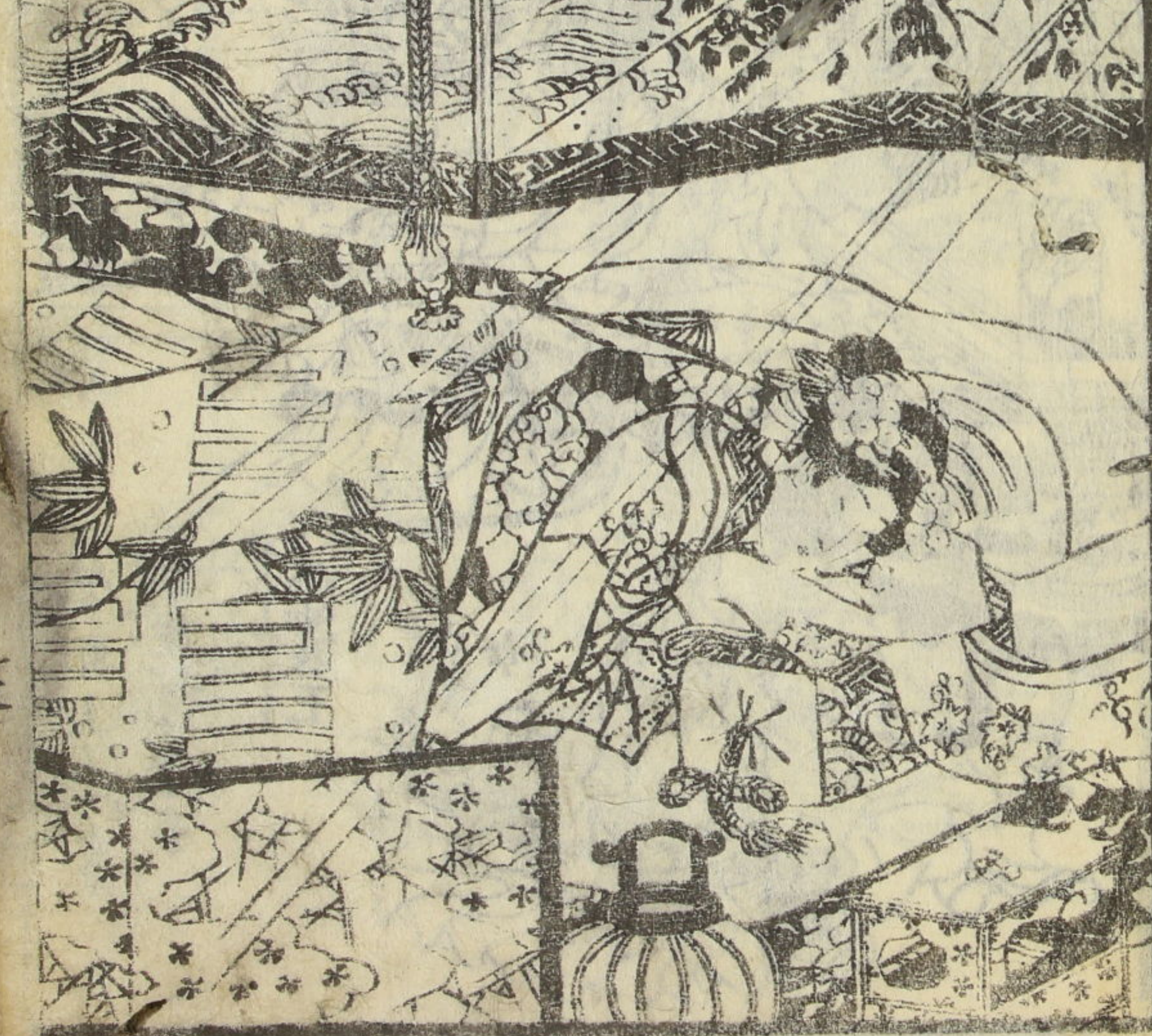
如来
 妙法蓮華經
 觀音菩薩普門品
 第九



如来
 妙法蓮華經
 觀音菩薩普門品
 第九

如来
 妙法蓮華經
 觀音菩薩普門品
 第九

如来
 妙法蓮華經
 觀音菩薩普門品
 第九



如来
 妙法蓮華經
 觀音菩薩普門品
 第九





五十五
この身もあらんおきのふささるめ
かやまはちりちりたるおのけんり
こころおのけんりたるおのけんり
あておのけんりたるおのけんり
おのけんりたるおのけんり
おのけんりたるおのけんり

十五
夫人の風のそよぐ
おのけんりたるおのけんり
おのけんりたるおのけんり
おのけんりたるおのけんり



五十六
おのけんりたるおのけんり
おのけんりたるおのけんり
おのけんりたるおのけんり
おのけんりたるおのけんり

夫のついでにちまきでもあきまゝ
 中世のついでにちまきでもあきまゝ
 ちまきでもあきまゝ
 ついでにちまきでもあきまゝ
 ちまきでもあきまゝ
 ついでにちまきでもあきまゝ



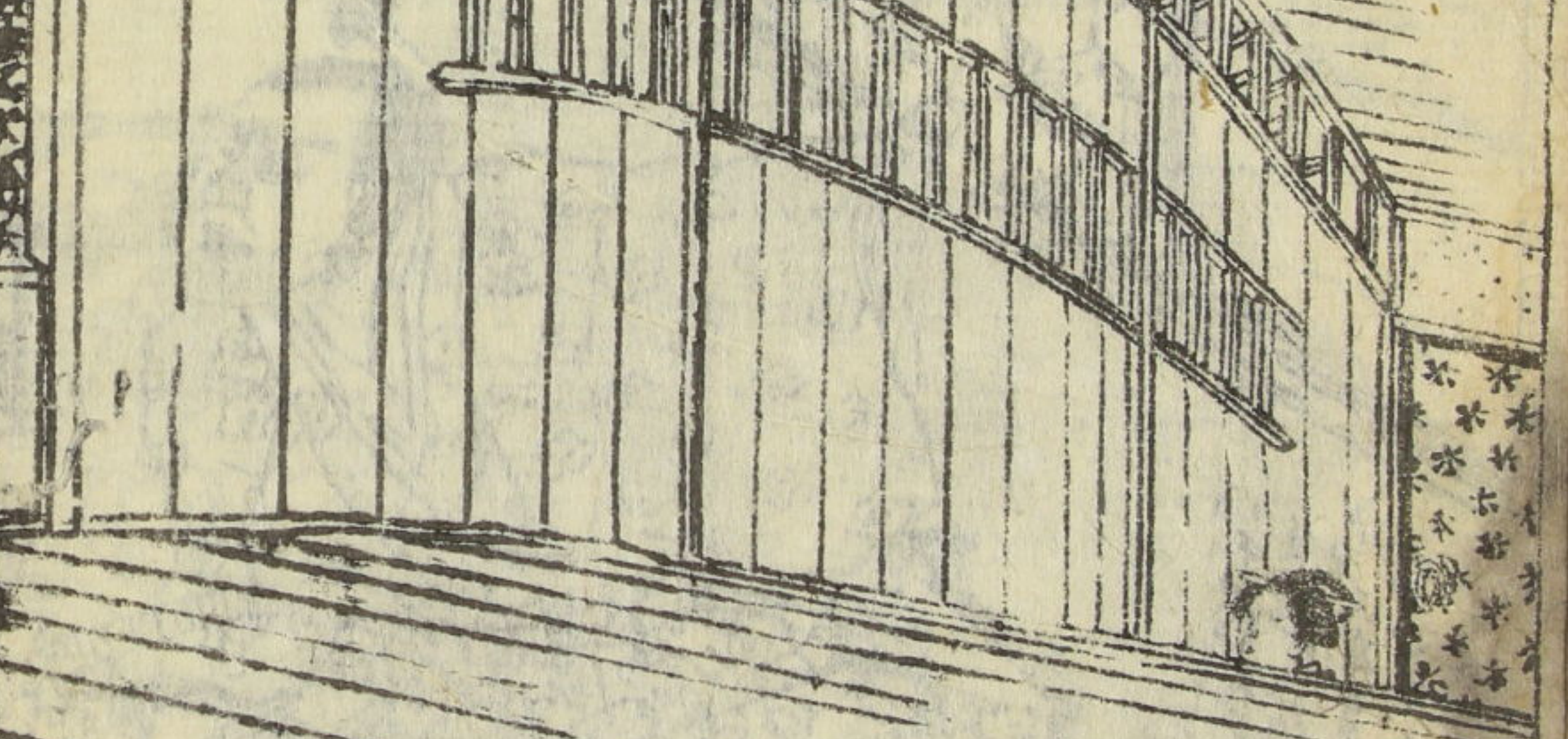
アラありがたうとておのりすも
 ちまきでもあきまゝ
 ついでにちまきでもあきまゝ
 ちまきでもあきまゝ
 ついでにちまきでもあきまゝ

ありごとくあきまゝ
 ちまきでもあきまゝ
 ついでにちまきでもあきまゝ
 ちまきでもあきまゝ
 ついでにちまきでもあきまゝ



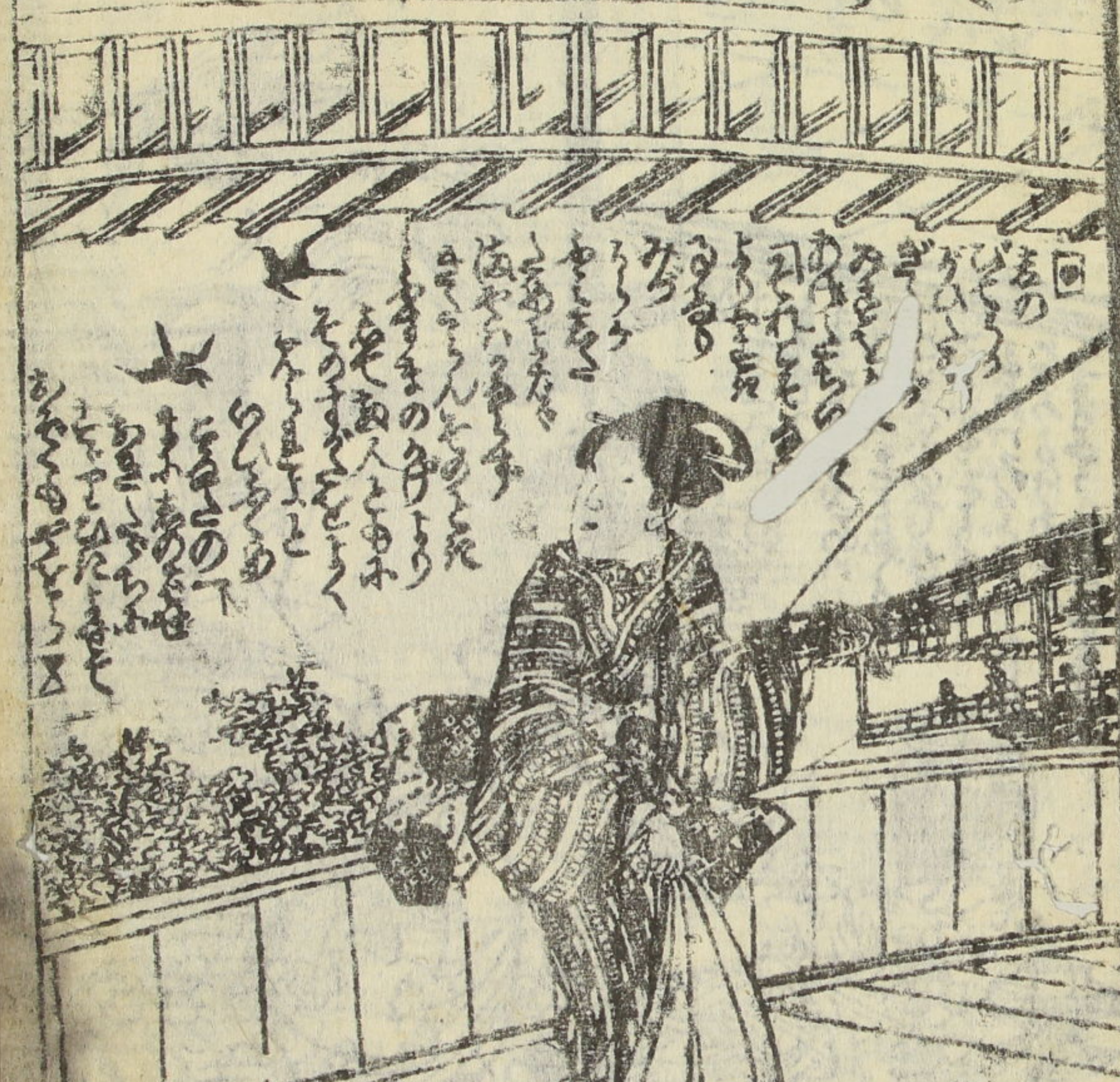
これをきくと
 ついでにちまきでもあきまゝ
 ちまきでもあきまゝ
 ついでにちまきでもあきまゝ

夫のありは...
 あり...
 あつて...
 あつて...
 あつて...



夫のありは...
 あつて...
 あつて...
 あつて...

夫のありは...
 あつて...
 あつて...
 あつて...



夫のありは...
 あつて...
 あつて...
 あつて...



陽齋豐國画〇万亭應賀作



文久四年甲子春新出版目録

倭文庫

五十二編 五十三編 五十四編 万亭應賀作
陽齋豐國画

為永春水作
重井菱染別小紋 八編 大尾

御亭種彦作
新編朝日譚 二編

御亭種彦作
花山吹百人女郎 二編

十返舎一九作
沙予みゆの 五編 大尾

常磐石津懷中本

初編 二編 小本あり
三編 四編 あり

重繪草紙本類問屋

上州屋重藏板

七番

